



注目されるイラン核合意の行方

調査研究部 古金 義洋

○対イラン核合意が延長される公算は小さくなっている

5月中旬(12日あるいは19日)、米トランプ政権はイランとの間での核合意に基づく制裁解除を継続するかどうかを発表する予定だ。

2000年代前半に発覚したイランの核開発計画を巡り、2006年以降、国連安保理はイランに対する経済制裁を強めていった。

制裁強化の結果、2000年代半ばに400万バレル/日近かったイランの原油生産量は2010年代に入り減り始め、2011年末370万バレル、12年末358万バレル、13年末266万バレルと減少し、最悪期の13年5月には250万バレルに減少した(図1参照)。

その後、2015年7月に、前オバマ政権下で、米中ロ英仏独など欧米6か国とイランとの間で、イランがウランの濃縮などを長期間にわたり凍結し、その見返りとして米欧が対イラン経済制裁を解除するという内容での「核合意」がなされ、16年1月に履行された。

16年以降、イランは原油市場に再参入することが可能となり、15年末に280万バレルだったイランの原油生産量は1年後の16年末には373万バレルに急増した。現在も380~390万バレル程度の生産が維持されている。

懸念されているのは、トランプ政権が対イラン制裁の解除を継続しない、つまり、制裁を再発動するのではないかという点だ。米政権は、制裁再開の是非を120日ごと

に米議会に報告するよう義務づけられている。

トランプ政権は昨年10月、イランが核合意を順守していないとの判断を初めて示したが、その一方で、合意維持を求める欧州諸国に配慮して、制裁再発動を見送った。

前回の報告期限であった1月12日にも基本的には合意維持となったが、トランプ大統領は声明で「ウラン濃縮活動の無期限停止や弾道ミサイル開発の制限などを含めた追加合意が必要」とし、米議会が同様の内容を盛り込んだ法律を整備しなければ「合意から離脱する」と警告した。さらに、核合意とは別に、人権侵害やミサイル開発に関与したとの理由で、イランのラリジャニ司法府代表ら14団体・個人を米国独自の制裁対象として新たに指定した。

トランプ政権のなかでは、核合意を支持していたティラーソン国務長官が解任され、後任にポンペオCIA長官が指名された。ポン





ペオ氏は対イラン強硬派として知られており、もともと、2015年核合意に関しては、米議会での承認阻止を主導していた人物だ。

現時点では、今回、核合意が維持される可能性より、維持されない可能性の方が大きくなっているのではないかと考えられる。核合意が維持されず、制裁が再発動され、イランの原油生産が再び落ち込めば、言うまでもなく原油市場に多大な影響が予想される。

○制裁再発動ならWTI原油価格が80ドル近くまで上昇する可能性も

さて、その際、どの程度まで原油価格は上昇するのか？

原油は短期的にみると、わずかな需要量、生産量の変化で価格が大きく振れる商品だ。価格が多少上がったとしても、人々はガソリンなどを使い続ける行動をすぐに変えようとしない。人々の行動を変えるためには、原油価格を大幅に引き上げなければならない。油田の事故などによって生産量が少しでも減少すると、原油価格が予想外に上昇するのもそのためだ。

原油価格が1%上昇すると、先進国では原油需要は0.05%程度減少するとされる(『エネルギー白書2008』より)。逆算すると、原油需要を1%減らすためには、原油価格は20%上昇しなければいけない。需要変化の20倍の価格変化が必要になる。

世界の原油需給は現在ほぼ均衡している状態だ。3月のIEA原油市場レポートによれば、2018年1～3月の世界の原油需給は過不足ほぼゼロとなったよ

うだ(図2参照)。4～6月以降については、OPECが2月並みの3,210万バレル程度の生産を維持することを想定した場合、日量40～50万バレルの需要超過になる計算だ。

そうしたなかで、仮に対イラン制裁が再発動され、イランの原油が現在の380万バレル程度から2013年平均並みの260万バレル程度に減少(120万バレル減少)した場合、世界全体としての原油生産量は現在の9,800万バレルから9,680万バレルへと減少する。減少率は1.2%程度だ。

1.2%の原油生産の減少に合わせて、原油需要も1.2%減らさなければ需給は均衡しないため、原油価格は1.2%の20倍に相当する24%上昇しなければならない計算となる。現在65ドル/バレル程度で推移しているWTI価格は80ドル程度まで上昇する可能性があるということになる。そうなった場合、インフレ懸念の高まりから米国を中心に長期金利が上昇し、米国を中心に株価が再び大きく下落するおそれがある点にも注意が必要だ。

(4月11日 記)

